

CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN



〒135-8585 東京都江東区潮見二丁目10番10号 日本カトリック会館内
% JAPAN CATHOLIC CENTER,
10-10, SHIOMI 2-CHOME, KOTO-KU, TOKYO135-8585, JAPAN
Key Tel. 03-5632-4411 · Fax. 03-5632-4453

2016年2月10日

プレスリリース

右近の列聖運動のシンボルマークを制定

高山家の家紋 七曜星をモチーフに

日本カトリック司教協議会 列聖推進委員会（委員長：大塚喜直 京都司教、所在地：東京都江東区潮見2-10-10）は、このほど列福が決まった神のしもべ ユスト高山右近の列聖運動を象徴するシンボルマークを制定しました。同マークの制作者は、師イエズス修道女会会員 Sr.北爪悦子氏。現在、商標登録出願中です。このシンボルマークは、右近の列聖運動に関わるさまざまな企画、催し、印刷物などに幅広く使用されるほか、申請に応じて、同マークの目的に沿った一般の使用も許諾されます。

同マークは、十字架に高山家の家紋七曜星を重ね、その背後に三つの輪が配されています。北斗七星を模したと言われる家紋の七曜星は、七つの秘跡を思い起こさせます。七曜星は、さらに、右近を導く聖霊の七つの賜物のシンボルでもあります。背後を貫く十字架は、仕えることを望まれた神と右近との親しさを表します。三つの輪は、三位一体の神が人に関わり、寄り添う姿と、その中で広がっていく右近の生涯を示すと同時に、右近の聖性の深まりと熱心な祈り、身を低くしてたどり着いた右近のあかしを示しています。

教皇フランシスコは、1月21日、ユスト高山右近（1553-1615）を殉教者として正式に認定し、福者の列に加えることを承認しました。教皇の名によって右近の列福を公式に宣言する列福式典に向けて、列聖運動のいっそうの高まりが期待されます。当委員会は、同マークの制定を機に、同運動が、日本の教会にますます浸透することを願っています。

この件についてのお問い合わせ先

日本カトリック司教協議会 列聖推進委員会
事務局: 平林冬樹、事務担当: 寺村淳子
電話: 03-5632-4445 (祝・土日除く)、携帯: 090-4381-6264
〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10
電子メール: pcb01@cbcj.catholic.jp

シンボルマークについて

1. 選定の経緯

昨年(2015年)10月、当委員会は、右近の列聖運動を促進するために、そのシンボルマークを制定することを決め、カトリック新聞紙上などを通じて、一般公募を行いました。締め切りまでに、7人・合計9点の応募があり、同運動への関心の高さが示されました。当委員会と専門家により、作者名秘匿のうえ応募作を厳正に検討・審査を行いました。その結果、師イエズス修道女会会員 Sr.北爪悦子氏の応募作品一点を選定しました。

2. シンボルマークの解説

右近の列聖運動のシンボルマークは、十字架に高山家の家紋七曜星を重ね、その背後に三つの輪が配されています。右近の列聖運動は、わたしたちが右近の模範に倣い、混迷する世界にあって、十字架のキリストに希望をおいて生き、全世界の人々に、右近の信仰の喜びを伝えることを目指しています。

◆七曜星

家紋の七曜星は、高山右近が生まれ育った家を指し、右近の信仰をはぐくんだ基礎を表しています。七曜星は、洗礼、聖体、ゆるし、堅信、婚姻、叙階、病者の塗油の「七つの秘跡」と重なります。それはまた、右近を導いた「霊の力」(ルカ 4・14)、聖霊の七つのたまもの(上智、聡明、賢慮、勇気、知識、孝愛、主への畏敬)のシンボルでもあります。十字架から発して七曜星を包む緑は、永遠のいのちへの希望を意味しています。

◆十字架

七曜星の背後に貫かれた十字架は、人間のために徹底的に仕えたキリストのしるしであり、キリストに倣い、神と人に仕えた右近の人生のシンボルです。右近の洗礼名「ユスト」は、「義の人」を意味します。神の義を生きようと、右近は、自分を人のために明け渡す生涯を貫きました。十字架の縦木は、右近が祈りによって深めた「神との交わり」を表し、横木は、どのような境遇にあって、神を第一とし、家族・共同体・貧しい人々に仕えた、右近の「人々との交わり」を表します。

◆三つの輪

七曜星と十字架の背後で輝く三つの輪は、三位一体の神と人々とのかかわりの中で、揺るがない信仰へと導かれ、広がっていった右近の生涯を示します。家族と領民と盟友たち、とりわけ頼りなく心細く生きる人にかかわり寄り添う右近は、各地の教会共同体、そして最後の追放によりアジアの共同体とかかわるために「出向いて行く」(教皇フランシスコ使徒的勧告『福音の喜び』24) 人となりました。

輪の内側からの水色と濃い青は右近の聖性の深まりを、外側の朱色は右近の深い祈りといのちをささげるまでのキリストへの燃える愛を表しています。400年前の日本の教会に「世の光」として誕生した右近の輝きは、今日の教会のわたしたちを照らしています。

3. シンボルマークの使用許諾について

同マークは、右近の列聖運動の促進に寄与すると思われる媒体、物品などに、広く使用されることを目的に制定されています。当委員会は、他の団体からの使用許諾申請に基づき、同マークの使用を許諾します。

申請条件や許諾条件の詳細については、(宗)カトリック中央協議会総務部または、当委員会事務局にお問い合わせください。

